

## 頑張れ後輩諸君！ <平成 29 年度 卒業生からのメッセージ>

このコーナーは、受験を終えた先輩たちが、君たちのために残してくれた多くの『受験体験記』の中から、ぜひ読んでもらいたいものを抜粋したものです。先輩たちは、受験までの生活・学習などを、成功例はもちろんのこと、失敗例までありのままに書いてくれました。君たちは、ぜひこのメッセージを受け止め、次の自分たちの受験に活かしてください。（なお、「進路指導室」には、このほかにたくさんの『受験体験記』が保管されています。受験勉強に行き詰ったりした時の助けになるはずですので、ぜひ読みにきてください。）

※ 可能な限り原文を尊重した文章になっていますが、誤字・脱字や内容の繰り返しは改めてあります。ご了承ください。

### 【合格大学・学部・学科名】

東京大学 文科二類

みなさんこんにちは。これから受験という大きな試練に立ち向かう皆さんに、少しばかりアドバイスさせてもらいたいと思います。

それでは科目別に。英語に関しては、1年では文法、2年では短い長文を、3年では英作文や難しい長文、リスニングを、そして3年間を通して1~2冊程度の単語帳を制覇する、という方法が良いと思います。特に文法は全ての基礎になるので決して怠らないでください。英語が一番伸び悩む教科ですが、毎日英語に触れることで必ず伸びていきます。数学は、予習、復習を大切に、1~2年では問題集『4STEP』をやり込んでください。そのときに自分で計算をし、理解をするという過程を忘れないで！数学は決して暗記科目ではありません。いつでも問題、解答に疑いの目を向けながら思考し、解決していくことで、真の数学力が養成されます。国語は、授業第一です。古典は早々に文法事項を終え、トレーニングを積みましょう。訳をするときには必ず品詞分解を！記述は、解答根拠が明確になっている場合が多いので、そこを逃さずに作品に愛情をもって読み解いていきましょう。現代文は、1~2年は先生の解法を授業でどんどん盗んでいきましょう。演習は3年になってから、指示語、接続語、同語、例示などに注意しながら、筆者の主張を理解することを意識して問題に当たってください。歴史はとにかく教科書です。一文一文を丁寧に読み解きながら、流れを実感しましょう。また、定期試験をペースメーカーにしていくと、非常に良いと思います。

それから、先生を信じる姿勢を忘れないで！先生方の言うことに間違いはないはずです。日々の授業を通じた先生方からの教えを大切にしていくことで、必ず道は開けてくるはずです。また、みなさんにはぜひ謙虚でいてもらいたい。授業で寝てしまったり、先生方の言うことを素直に聞けなかったり…。それではダメです。常に自分を高めようとする向上心を持ちながらも、自分ができないところをしっかりと自覚し、どうしたら直せるのか。人の言ってくれるアドバイスを謙虚に受け止め、自分を進化させていこうとする気持ちを忘れないでください。3年生に入るとつらいことばかりです。時にはガッカリすることも必要かもしれません。しかし、そこからどう自分を立て直し、前に進んでいけるか。そこにみなさんの真の力が表れてくるはずです。自分を信じて、悔いの残らない生活を送ってください。健闘を祈ります。

### 【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『上級現代文』（良問ぞろいです。必ず先生に添削してもらってほしい。）

『4STEP』（解法を理解するまで反復）

『良問プラチカ』（3年夏から使う。真の数学力が身につく。）

先生による長文問題英作文の添削（特に英作文は自身の悪いクセが分かるので、やってもらうべき）  
Z会の論述問題集（歴史）（解説が詳しいので、流れを理解するのに最適！良問ぞろい）

### 【合格大学・学部・学科名】

## 東京大学 理科一類

後輩のみなさんに伝えたいことを学年別に書いていきたいと思います。

### 1年生に対して

- ・先生がやるように言ったこと(課題を含む)に全力で取り組みましょう(必要ないと思ったことでも)。後になって、あのときやっておいて良かったと思うときが必ず来ます。
- ・勉強と遊びのメリハリをつけましょう。毎日学校に残って、教室や学習室で勉強して、テストや模試が終わった日の放課後に遊ぶのがいいと思います。

### 2年生に対して

- ・国語(特に古典)を捨てないようにする必要があります。いくら理系とはいっても、センター試験では国語を受験する必要があります。2年生のうちにしっかり取り組んでおけば、3年生で数学・理科にあてられる時間が増えます。
- ・国語・数学・英語だけでなく、理科も着実に勉強しましょう。浪人生と比べると点数が低くなりがちな理科ですが、2年生のうちに基礎を固めておけば、3年生のときの模試で浪人生に後れを取ることはないでしょう。

### 3年生に対して

- ・理科の演習を本格的に行いましょう。2年生のときに基礎が身につけていれば、成果はすぐに表れるでしょう。
- ・センター試験の対策はしっかりした方が良いです。問題をたくさん解けば、形式にも慣れて点数が取れるようになるでしょう。センター試験後には、2次対策で問題を解いたら、添削をしてもらうと良いでしょう。自分では気づかないことを指摘してもらえます。

### 【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

- 『鉄壁』『Data Base』の次に取り組むべき英単語帳
- 『プラチカ』『大学への数学』(演習量を増やせる)
- 『リードα化学』『物理のエッセンス』(繰り返し取り組む)

## 【合格大学・学部・学科名】

### 東北大学 農学部

私が受験を通して失敗したと思うことは、模試のやり直しについてです。1年生や2年生の最初の時期は模試のやり直しをあまり重要視していませんでした。そのため、見たことのある問題なのに解けないということが何度かありました。間違えた問題はできるようになるまで丁寧にやり直して、模試の価値を大きなものとしてください。また、3年生になるとなかなか時間がないので、1年生や2年生のときに英単語や古文単語は、空き時間を使ってある程度身に付けておくのと良いと思います。

受験に挑む際、大切なことは自分に自信を持つことだと思います。自信を持つためには、自分の受験勉強を振り返って、どんなことをしてきたのかが具体的に何個か思い浮かぶようになるのと良いです。それらは必ず自信へとつながり、本番で自分の心を奮い立たせてくれます。受験は辛く、苦しいですが、受験を通して得られるものは大学へ行くための学力だけではありません。私は、自分がどれだけ多くの人に支えられているかということに気が付きました。ぜひ、受験生活に全力を注いで頑張ってください。

### 【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

- 『生物セミナー』(基礎固めや発展的な問題を学ぶのによい)
- 過去問の添削(答えを自分で見るより、考える力が身につく)
- 『化学リードα』(やり込めばある程度の力は身につく)

## 【合格大学・学部・学科名】

### 神戸大学 国際人間科学部 発達コミュニティ学科

受験について考えるとき、受験勉強はいつから始めるべきか、ということが話題になります。多くの場合、

高2の夏からとか遅くても3年0学期からと考えると思います。しかし、私が受験を意識し始めたのは3年の夏からで、その上、2年生の時は耳にタコができるくらい「勉強時間が足りない」と言われるほど勉強していませんでした。こんな私が結果を残せた理由となったことをいくつか挙げたいと思います。

#### ○授業を真剣に受けたこと

授業内容は受験において強力な基礎力となります。雑談だと思っていたことが問題を解くための大きなヒントとなったり、「もう理解しているから」と思いながら聞いていて、実は理解した「つもり」だったと気付くことが多々ありました。授業中の睡眠、内職は論外です。話の一言一句まで聞き逃さないくらいの気合いで授業に挑みましょう。

#### ○先生の話「素直に」聞いたこと

先生方は普段からいろいろなことを話してください。「素直に」聞くとは、決して話を鵜呑みにすることではありません。例えば学習方法についての話の場合、話を一度頭に入れ、それが自分に合う方法かどうかを分析し、必要ならば試してみるとよいです。思いがけず、自分にぴったりの方法を見つけられるかもしれません。

#### ○精神状態をある程度コントロールできたこと

学習に集中するためには精神状態を安定させる必要があります。私は感情の浮き沈みが激しく、落ち込みすぎて何も手につかないこともありましたが、しかし、その間何気なく過ごすのではなく、原因は何か、前兆はないか、回復するにはどうすればいいかなどを分析するようにしました。そのおかげで、精神的ダメージの大きい受験シーズンもあまり落ち込んだりせずに学習に集中できました。2年生までは時間に多少の余裕があるので、一度時間をかけて自分と向き合うといいと思います。

私が行ったことは他にもいくつかありますが、この3つができたことが結果を残せた大きな要因だと思います。2年生までにこれらのことができていれば、3年生では「まだまだできる！」と自分を信じて突っ走るだけです。皆さんの検討をお祈りしています。

#### 【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『タペストリー』『日本史図説』（教科書の文章だけでなく、視覚的な情報を入れることで、記憶が確実なものとなった）

『4STEP』（3年の夏くらいまで、数学はほとんどこれだけしかやらなかった）

#### 【合格大学・学部・学科名】

宇都宮大学 地域デザイン学部 コミュニティデザイン学科  
日本大学 文理学部 社会学科

授業第一という姿勢はとても大事です。先生の話をよく聞いて、わからないことがあったら授業後に先生に聞きに行ったり、友達と話し合ってみたり、何一つ授業を無駄にすることがないようにしてください。そうすることで効率よく勉強ができるはずですが、授業に一日でも出られないと、その次の日の授業についていくのが大変なので、体調管理をしっかりと毎日学校に行くことを心掛けてください。

自分の周りの環境は勉強のモチベーションにとっても大きく関わってきます。実際に私が一年生の頃、勉強のモチベーションが下がってしまい、どうしようもなくなってしまったときに、担任の先生やその他の先生方が、私が立ち直るように支えてくださって、私がダメにならないように対策を一緒に考えてくださいました。また、私の周りにいる友達も休みの日に「勉強に行こう」と私を連れ出してくれました。このおかげで勉強へのやる気を取り戻して、立ち直ることができました。これらの周りの人たちの手助けがなければ宇都宮大学に合格することはできなかったと思います。周りの環境というのは自分にとってとても大きな存在です。一緒に勉強できる仲間がいると、自分の勉強のモチベーションが下がって心が折れてしまいそうになっても、その仲間が支えてくれて、大きな助けになると思います。「一緒に勉強頑張りよう」という雰囲気を友達と作っていきましょう。そして、トップ英進・英進部の先生方はとても頼りになります。分からない問題を質問すると、親身になって教えてください。学校に夜遅くまで残って勉強することが私のオススメです。自分の教室やモザイク室、学習室や図書館など、勉強に一番集中できる場所を見つけてみてください。周りの環境に時には頼ったり、自分が影響を与えてみたりして、一人で何でも乗り越えようと思わない方が自分の持っている力を最大限に発揮することができ、第一志望校の合格に近づくとと思います。

#### 【おすすめの受験参考書・問題集・添削など】

『漢文必携』（基礎固めとしてすべて暗記すれば必ず点数に結びつく）

『4STEP』（繰り返し解くことで力がつく）

『リードα(化学)』（まとめのページが復習に役立つ）

『英文法 1000』(study point が重要表現を覚えるのに使える)  
過去問の添削(解説にないところまで細かく指導してくれた)